

学校 番号	62	学校名	松川 高等学校
----------	----	-----	---------

令和4年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【令和4年10月24日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

1 中間報告

- ① 学校評価委員会より
 - ・「匿名性を担保した授業評価」アンケート、職員アンケート結果報告
- ② 進路指導係より
 - ・3年生の進路状況中間報告
- ③ 生徒指導係より
 - ・本年度のこれまでの生徒指導状況の報告
- ④ 各学年主任より
 - ・各学年生徒の現状などについて
 - ・2学期の学校及び進路行事に関する取り組みについて

2 生徒会取り組み報告

- ・本年度の生徒会活動、新年度の三役紹介と活動への抱負

3 意見交換

- ・各評議員よりご質問をいただき、意見交換を行った。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 生徒会活動をご理解いただくために、学校評議員の前で生徒会役員が直接活動状況の報告を行った。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 生徒会活動について、スマホルール班・LD班・NEO班・文化祭実行委員の活動がただ単に先輩から引き継ぎ活動しているというのではなく、発展させながら継承している様子に、今後も頑張してほしいという温かいお言葉をいただいた。
- 2 高校生が授業や特別活動を通して知識理解や人として成長している様子が伝わっているという地域の方のお話を頂戴した。進学後もぜひ地域に戻って「リーダー」として活躍してほしいという激励をいただいた。
- 3 地元就職を希望する生徒が増えている現状から、地域の中でも活躍できる若き担い手として期待する声があった。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 1 コロナ禍だからこそ始まった町内全保育園との花の交流は保育園でも喜んでいただいている。今後も生徒会役員のみならず、町役場の方や地域の方々との交流を深めていきたいと考えている。
- 2 生徒会活動に対する評価と期待を伝えていただいた。今後も仲間と協力し合って生徒会行事に取り組み、主体的な学びをすることで社会でも通用する力をつけさせていきたい。特にコロナ禍における文化祭の一般公開のあり方などを考えるなど問題解決能力を身につけさせるとともに、今後は地元の中学生、地域の方々との話し合いからも地域との交流を深めることができるようになりたい。
- 3 人間関係作りが苦手な生徒が年々多くなっている現状を踏まえ、職員研修だけではなくSSTや対人関係ゲームなど有効な手段を考えながらよりよい人間関係が構築できるよう生徒支援も充実させていきたい。